

小呂野通信

令和4年2月号

〒041-0806

函館市美原5丁目31番10号



この原稿を書いている2月3日節分の日もオミクロン株の猛威が収まらず、「過去最多」という言葉を報道のあらゆる所で見かけます。

オミクロン株然り、新型コロナウイルスの発生からこの間、情報は錯綜し、これらの中の何が真実で、何が事実に基づかない「憶測」なのか、よほど注意をしなければ真実がつかめない状況が続いていると強く感じています。

このことは新型コロナウイルスに限らず社会の出来事全般に言えることだと、最近強く感じています。

ここ数ヶ月の間に、医療従事者に対する悲惨な事件が相次いで起きています。

聴く限りにおいて、なぜ熱心に地域医療に取り組んでいた医療従事者が、犠牲にならなくてはなかったのか等、これらの事件の原因を明らかにする必要を強く感じます。

これらのことを含めて、今、起こっている様々な社会事象に対して、単なる憶測、推測がさも真

実のように語られているような気がして、私はなりません。

そこからは、それらに対する有効な対応は生まれてこないと思います。

「オミクロン株はインフルエンザみたいなもの…」「犯人は孤立していた…」等々、様々な憶測や推測をよく耳にします。

事実に基づかない対応は、その後の誤った対応に繋がっていくものです。真実を探求し事実を確認し、正しい対応を模索していくことが、情報があふれる今の社会だからこそ、大切なのだと思っています。

法人の活動も然り。

『よりよく生きることを支援する』為に、法人の活動に何が必要なのか、真実を探求し、事実を確認し活動をしていきたいと思っています。

NPO 法人小呂野

理事長 湯浅 弥



エゾヒキガエルが絶滅することなく、函館でいつまでも元気に生育できるように…。

環境配慮の取り組みを、一人ひとり意識が持てると良いですね！


生姜湯で温まろう

まだまだ寒さが骨身に染みるこの季節、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

特に寒さの続く今の時期、日々の仕事の中でふと疲れを感じたり、体調を崩してしまうときもあるかと思います。

そんなとき、生姜湯を飲んでほっと一息ついてみるのはどうでしょう。作り方はいたって簡単。鍋に水を沸かし、皮をむいた生姜をすりおろして、はちみつレモンなどを一緒に混ぜるだけ！お好みで片栗粉でとろみをつけるのも美味しいですよ。

はちみつを入れた生姜湯は血行を促して体を温め、消化不良など胃腸にも効果があるといわれています。

免疫力を高めて寒さを乗り切っていきましょう！ すがわら 

本の紹介

『やさしい猫』

中島京子著

(中央公論新社 2021年)

淡彩の、ほのぼのとした町の風景の装丁とやわらかな字体の「やさしい猫」のタイトル。

これだけを見ると猫好きの人が喜ぶような小説かと思ってしまう。

愛猫カルと二人(?)暮らしの私も、平積みの本書を見つけたら、その中身を期待して手に取ったことでしょう。

でも、知ったのは新聞の書評コーナー。

そのテーマとあらすじに、すぐにも読みたい思いに駆られて、蔦屋書店に走りました。

お話は、女子高生マヤちゃんの「きみに話してあげたいことがある…」の書き出しで始まります。

マヤちゃんのシングルマザー ミユキさんが、災害ボランティアで知り合った自動車整備工 スリランカ人クマさんと恋に落ち、紆余曲折の末に結婚。3人は家族になります。結婚を機に新たな在留資格の手続きのため東京入管局に出向いたクマさんは、なぜか不法残留として東京入国管理局に収容されてしまい、強制退去処分が下されます。クマさんの収容が長引く中、ミユキさんは弁護士費用を工面しながら、国との勝ち目のない裁判に臨みます…。

ウィシュマ・サンダマリさんが名古屋の入国管理局で亡くなった事件は広く長く報道されていて、入国管理局の実態について私たちが知るきっかけとなりましたが、新聞書評によると、この小説は、ウィシュマさん事件より先にほとんどを書き上げていたようです。

入管制度や、その問題点などについて、わかりやすく学べるのと同時に、ストーリー展開にハラハラドキドキしつつ一気に読み進めます。

皆さんにぜひ、お勧めしたい一冊です！

…「やさしい猫」とは、実は、クマさんが教えてくれたスリランカの民話でした。

その中身は…お読みください。 K



やさしいカル



2022.1.30 二十間坂 カップケーキ風積雪

何が見えるかきこえるが。

法人活動同様に、各々プライベートも探求！



変わりゆく気候を詠んだり、絵を描いたり…。

日頃の実践とは違った取り組みで、気持ちを切り替えたり、一息つく時間も大切にしています。

一句

足あとも
いつしか消えた
冬の夜

㊦

音もなく
星空あおぎ
白い息

㊦

そしてあれから…

前回小呂野通信をお届けしたのが今年の11月。

あの頃はなかった雪を眺めながら、確実に季節は移ろい、前へ進んでいることを感じます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続く中、この局面と向き合いながら、私たち小呂野も模索の日々。

感染拡大防止の観点から、医療機関及び入所施設等への出入りに制約がある中、被後見人等の方々からの声、地域の方からのご相談やお問い合わせの声をしっかりつかむことができるよう、電話を5台に増設しました。

また、ジャンル問わず、知りたいことは貪欲な精神で、様々なオンライン研修に各自参加し、学びを共有しています。そのほか、事例検討会を通じ、多様な視点、状況改善に向け意見を出し合いながら、「本質をつかむこと」「成長し続ける」ための取り組みを行っています。

ホームページリニューアル！完成までカウントダウン…

広く会員の皆さんに支えられながら、知る、学ぶ、成長する楽しさをスタッフ一同、感じています。

エブリディトレーニングの私たち。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



みなさん、こんにちは。

少しずつ日が長くなってきましたね。



わたしは少し前から換毛期で、後ろ足でせっせせっせ古い毛を掻き飛ばし、保温性の高い被毛へと新調しました。抜けた毛すら、「かわいいねえ」と集めてくれるサクラさん。「いっぱい集めて、羊毛フェルトみたいに、何か作れるかな」なんて構想も練ってくれるサクラさん。



たかが毛。されど毛。

小呂野スタッフ一丸となって、一つひとつの物事にいろんな可能性を見いだして、日頃の実践に繋げてほしいなっています。

正面からだど気づかないけど、

角度を変えると…

子ガエルさんこんにちは！



しま

生きるすべ

私の庭(と勝手に呼んでいる
函館公園)第2弾。

今回はヤギについてお伝え
します。

ヤギは2頭。ふらっと様子
を見に行くと、寄り添って地
面に立っている。という光景
がほとんど。

明るい時間に行ける週末は
食事の時間を目掛けて足を運
びます。

食事タイムの面白さは、2
頭の食事スタイルの違いで
す。この日も1頭については
台までの1枚板をモデルウォ
ークでスッと登り、首を伸
ばして食事スタート。

もう1頭は、地面からダイ
レクトに台にのぼることをい
つも試みますが、コツコツと
台に当たる爪の音が響くばか
りで、その後フリーズ…。

そうこうしているうちに、
上からチラホラ舞ってくる草
を真剣に食べ始めます。

「食べる」は生きるために欠
かせない本能。創意工夫(!)で
乗り越える心得を目前に、万
事に工夫の大切さや、諦めな
い前向きな気持ちの学びとな
る光景です。 コニシ



ムシャムシャ
ムシャムシャッ
こうやってカゴから
引っ張り出して
食べるってのが、
食事の醍醐味
なんだよね〜



いやいやっ!
その食べ方がすべてじゃ
ないさっ!
だって、カゴから落ちて
台に散らばったのをはむの
だって、こんなに美味しい
んだからさっ!!



……!!



2022.1.23 撮影



下山道路にてカメラに大接近

〒041-0806 函館市美原5丁目31番10号

TEL 0138-83-8471

FAX 0138-83-8472

MAIL simasakura1@gmail.com

特定非営利活動法人 小呂野

ゆあさ社会福祉士事務所

湯浅 弥

湯浅 留美

高橋 鑑一

小西 真帆

菅原 仁哉

湯浅 しま 🍓



BLOG

執筆中です!